

令和7年度 屋代小学校

学校評価アンケートのまとめ

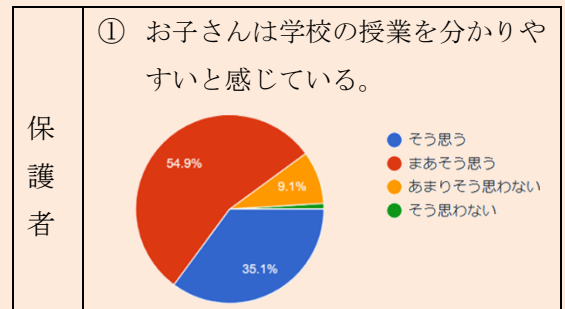
学校では毎年、学校運営の成果や課題を検証し、改善の方向性を明らかにして次年度に生かすことを目的に、学校自己評価を行っています。2学期末には、学校が目指す重点目標に照らして、保護者・児童・職員を対象にアンケートを実施しました。その結果をもとに校内の学校自己評価委員会で考察を行い、職員全体で共有しました。さらに、2月19日に開催された学校運営委員会にて報告し、委員の皆さまからご意見や評価をいただきました。

集計結果と考察のまとめが整いましたので、報告させていただきます。今後も、屋代小学校の教育活動に対するご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

1 学校重点について

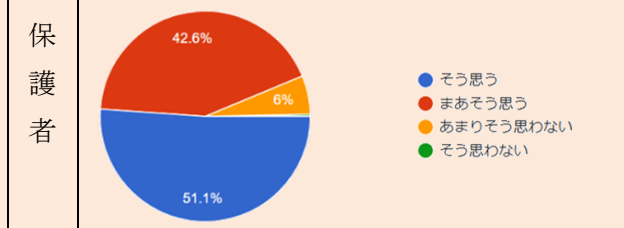
【重点目標1 大好き自分：授業の分かりやすさ】

授業が分かりやすい「そう思う」「まあそう思う」といった肯定的な回答が、児童、保護者ともに9割を超えています。普段の授業の在り方を引き続き大切にしていきたい。一方で、児童、保護者ともに「授業は全く分かりやすくない」と回答している方も一部いるので、支援が行き届くように配慮していきます。



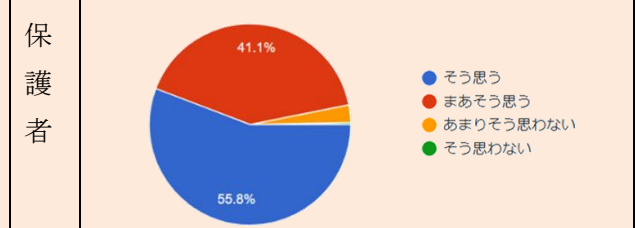
【重点目標1 大好き自分：学校生活】

② お子さんは、楽しく学校生活を過ごしている。



【重点目標1 大好き自分：挑戦できる場】

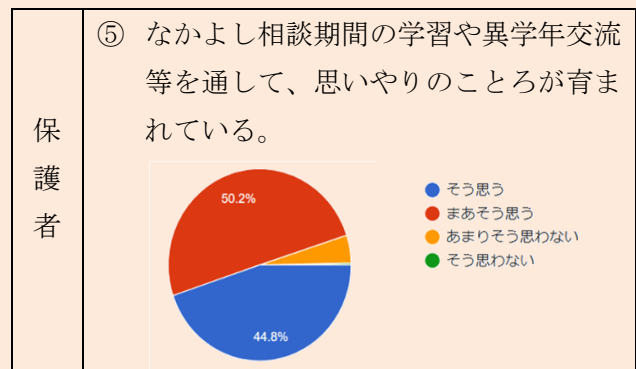
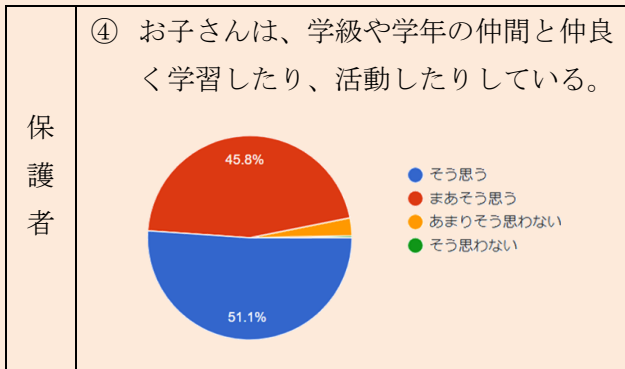
③ 授業や行事の中には、お子さんが挑戦でき、挑戦する場がある



「子どもが学校が楽しい」と感じているかどうかは、「挑戦や活躍する場の保障」と関連性が高い（各データ比率が近い）と言えます。当然、「授業が分かる」「友達関係」など、複合的に関連性があることから、いずれの場面でも子ども一人ひとりの可能性が光る場面を意識的に設え、試行錯誤したり、やり遂げたりすることのよさや甲斐を、3者で共有していきます。

【重点目標 2 大好き友だち：友だち関係】

【重点目標 2 大好き友だち：異学年交流等】

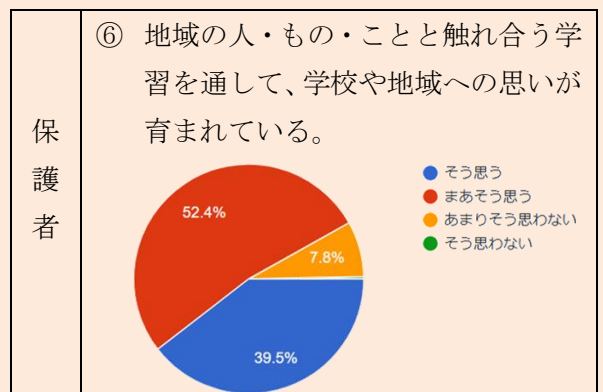


友達と仲良く活動できている「そう思う」「まあそう思う」を合わせた肯定率は、児童、保護者、職員いずれも、大きくは変わりません。一方で、職員、保護者が「そう思う」と感じている以上に、子どもたちは「仲良く話したり遊んだりしている」と感じていると回答しています。

今後も職員は、子どもの抱える悩みやトラブルに真摯に向き合い、保護者からの情報にも耳を傾け、その子の学びの場、成長の場として、心に落ちる指導を心がけるとともに、異学年交流などを通して心の醸成を図っていきます。

【重点目標 3 大好き屋代：学校や地域への思いやり】

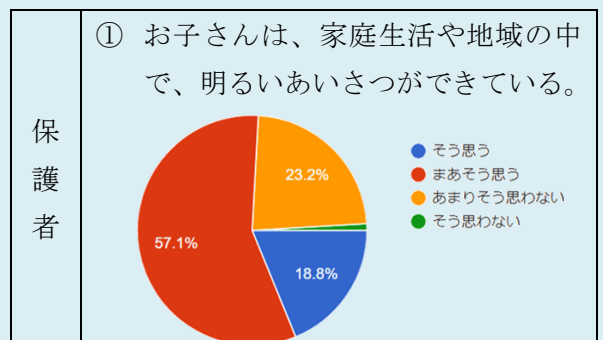
子どもは学校や地域への思いが育まれている「そう思う」「まあそう思う」の肯定率が約 9 割を超えています。主に生活科、総合的な学習の時間を通して、座学では学ぶことのできない人・もの・ことにふれ、探究的な活動の中で感動体験をしていくことが重要となります。学年・学級で題材の価値を見極め、授業展開を構想していきます。また、その過程で起こるその子なりのエピソードを通信や懇談会などで伝えていきます。



2 学校生活について

【2-① 明るいあいさつについて】

多くの児童はあいさつができていると感じている一方で、保護者、教師も肯定率は高いものの、児童の数値ほどあいさつができているとは感じてはいません。この差は、児童にとっては「あいさつされたら、きちんと返すことができている」という認識であり、保護者、教師にとっては「自分からあいさつはなかなかできていない」という認識の差ではないかと考えます。教室や学校内で自分から明るいあいさつができている子のよさをさらに広げていきます。

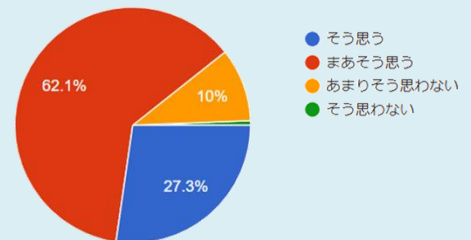


【2-② 交通安全について】

児童、保護者ともに、交通安全に気を付けている「そう思う」「まあそう思う」の肯定率は90%を越えています。また、「そう思う」の割合が小さい状況でした。また、一部職員からも安全についてきちんと指導できていないという意見もあります。交通安全は命に関わることなので、地域や保護者の方々から見える子どもの姿からも、一緒に考えていく姿勢が必要です。また、職員も朝や下校の交通指導に出ていますので、その様子を共有していきます。

保護者

② 屋代小の子どもたちは、交通安全に気を付けて生活できている。



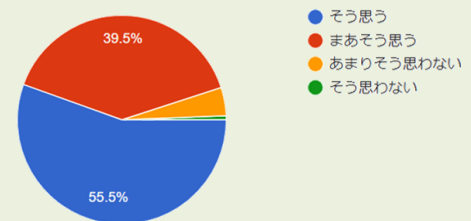
3 子どもとの関わりについて

【3-① 職員の支援・指導について】

児童が困ったとき、職員は相談に乗ってくれる、保護者から見て、職員は適切な指導・支援をしている「そう思う」「まあそう思う」の肯定率は9割を超えています。一方で、否定的な意見も5%ほどあります。個別の丁寧な指導は、児童理解の上に立ち、時間や心の余裕を要します。引き続き、職員間で情報共有しながら、すべての子どもにとって適切な指導・支援となるよう努めていきます。

保護者

① 職員は、子どもの思いや成長を大切に指導・支援している。



【3-② 職員から、たたく・ける等の行為がなかったかについて】

保護者からは、全て「なかった」という回答をいただきました。しかし、子どもから「たたく・けるはなかったが、言葉遣いがきついことがある」「大声で叱られることがあった」の声が数件寄せられました。これらの声を真摯に受け止め、全職員で共有し、指導のあり方を改めて見直しています。

子どもたちが安心して過ごせる環境づくりを一層徹底し、言葉かけや関わり方についても職員間で確認しながら改善に努めてまいります。引き続き、何かお気づきの点がございましたら遠慮なくお知らせください。

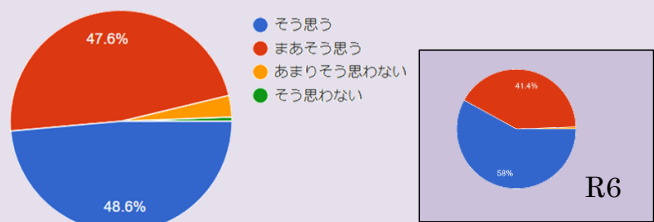
4 その他

【4-① 学校の情報発信について】

経年変化をみると、学校からの情報発信が、保護者、職員ともに肯定率をやや落としています。各種通信の内容をより読みやすく、分かりやすいものとなるよう心がけたいと思います。また、個別の情報共有については、電話をしたり連絡帳でやりとりしたりするなど、引き続き丁寧に意思疎通を図っていききたいと思います。

保護者

学校は、学校や学年・学級の様子を、学校便り「はなみじ」・学年だより・学級便り・ホームページ等でわかりやすく伝えている。



5 保護者の皆様から

・子どもたちの安全面に関して、登下校中の歩き方や列のまとめ方などについてご意見をいただきました。また、自主自立登校と集団登校の進め方や時期についても、見直してはどうかという声がありました。いただいたご意見を受け、子どもたちが安心安全に登下校できるよう、これからも指導を続けていきます。保護者の皆様、地域の皆様には、引き続き見守りとご協力をお願いいたします。

・学校や地域でのあいさつについて、今年も保護者の皆様や地域の皆様からご意見をいただきました。あいさつをもっと積極的にしてほしい、声をかけても返ってこない場面があり残念に感じる、自分から進んであいさつできるようになるとさらに良い、というご意見をいただきました。子どもたちがより自主的にあいさつできるよう、月の重点目標に取り上げたり児童会と協力したりしながら、今後も取り組んでいきます。

・学校職員について、子どもたちの良いところをたくさん見つけてほめてもらっている、授業や日々の関わりの中で成長を支えてくれている、一人一人の性格や個性に寄り添っている、など、肯定的なご意見を多くいただきありがたく感じております。一方で、注意を受けた理由が子どもに十分伝わっていないと感じる場面や、学習の苦手な部分への支援、授業中の関わり方についてのご意見もいただきました。いただいた声は全職員で共有したり、学年ごとに対策を講じたりしながら、今後の教育活動に生かしていきたいと考えています。

いただいた評価やご意見を今後の教育活動に生かし、よりよい学校づくりに努めてまいります。

今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



【“子どもたちが主役”の屋小MI グランプリ 第2回出場者のみなさん】